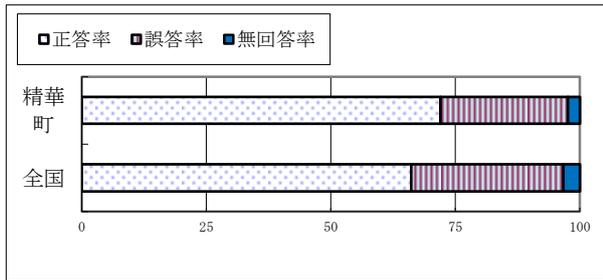


中学校数学科

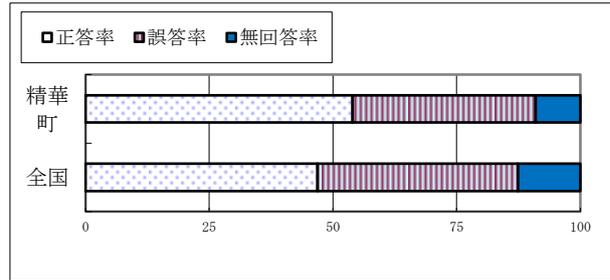
平均正答率の比較

A問題



- 国の状況
正答率は約66%であり、今回出題された学習内容は概ね理解できています。
- 精華町の状況
全国との比較において、6%程度高く、良好な結果であると言えます。

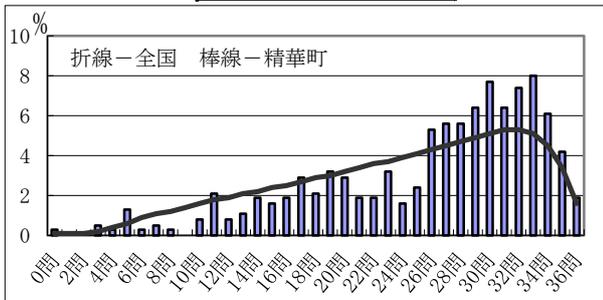
B問題



- 国の状況
正答率は約47%であり、やや課題が残ります。無回答率についても12%を超える状況です。
- 精華町の状況
正答率は全国より高い値を示していますが、無回答率の課題は残ります。

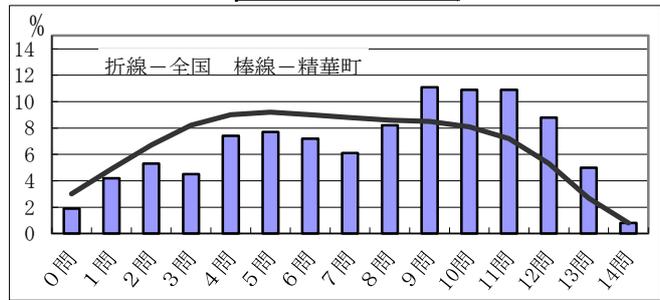
正答数の分布比

A問題



- 国の状況
正答数は31・32問をピークに全体的に右寄りの山型に分布しています。
- 精華町の状況
全国との関係において、上位層の分布が多く、高い傾向にあります。

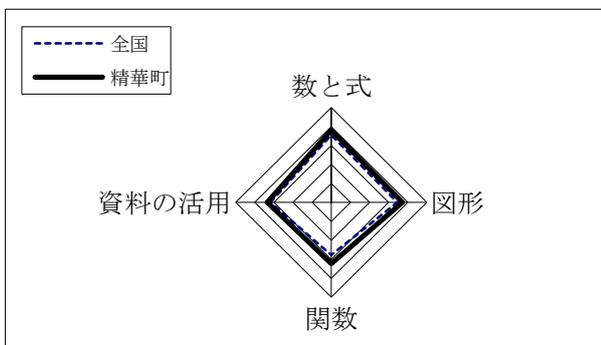
B問題



- 国の状況
5問をピークにやや左寄りの分布が見られます。
- 精華町の状況
全体にバラつきはありますが、全国の傾向とは逆に違い、右寄りに分布しています。

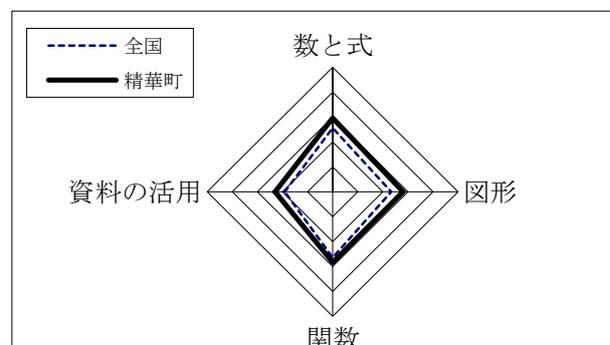
領域・視点の比較

A問題



- 国の状況
「数と式」領域においては、比較的高い値を示しています。
- 精華町の状況
全国と比較して、外側に分布しており、基礎基本が良好な状態で、バランスよく習得できていると言えます。

B問題



- 国の状況
「資料の活用」において、課題がみられます。
- 精華町の状況
全国と比較して、すべての領域で外側に分布していますが、全国と同様に「資料の活用」に課題がみられます。